



令和6年3月吉日

利用者様、保護者の皆さまへ

ケイ・アンド・エム・インターナショナル株式会社
放課後等デイサービス ココカラ西五所
管理者・児童発達支援管理責任者
福岡 俊司

療育プログラムについて

平素よりココカラ西五所の活動にご理解とご協力を承り誠にありがとうございます。

令和6年度4月からの療育プログラムをご案内させていただきます。

プログラムの編制や制度改正にともなう介護報酬等の変更がございますが、私どもの大切にしている理念に変わりはありません。引き続き、子どもたちの成長・発達を保護者様とともに見守っていただけるよう努めてまいります。

今後ともよろしく願いいたします。

〈理念〉「子どもたちの未来をよくするために 人と人 人と社会をつなげる 一番の応援者になる」

◎ ココカラの療育プログラム

療育の基本的姿勢である受容的交流を通して、人と人とのつながりを大切にし、個人の長所や発達課題、ライフステージにあわせて、一人ひとりにあわせた療育を計画・実践いたします。

個々に必要な『健康・生活』『運動・感覚』『認知・行動』『言語・コミュニケーション』『人間関係・社会性』への発達支援を複合的に行い、子どもの今と未来をつなげ、日常生活や社会生活において、その人らしく生きる支援を行います。

職員は、家庭、関係者、地域との連携を図り、且つ家族員への必要な支援に取り組みます。また、福祉従事者として臨床研究に努め、療育の質を高めるとともに、その内容を還元いたします。

来館後の流れ	
来館	保護者及び本人との情報共有。挨拶や訪問時スキルなどの習得、向上を支援。
検温	健康状態確認。記録など段階的に自己健康管理につながる支援を実施。
荷物管理	靴や手荷物を所定位置に整理、連絡帳を提出するなど、物の管理や手順を支援。
手洗い	日常生活スキル、衛生への意識向上の獲得、向上を支援。
予定を確認	見通し、確認意識、参加意欲、時間などへの理解を深める。
準備	自己管理、次への予測と行動、時間意識など、生活や社会スキルの向上を支援。
活動に参加	個々の計画に沿ってプログラムを提供。
帰宅準備	準備時支援に加え、忘れ物への意識や確認、生活に必要なスキル向上を支援。
連絡ファイル受取り	自分の頑張りや出来事をスタッフと振り返り、共有、賞賛などの経験を重ねる。
次の来館日確認	次の予定を確認し、自発的参加意欲や向上心などにつなげる。
ご家族と退館	スタッフ及び本人と保護者との情報共有。頑張った自分を認める経験を重ねる。

授業終了後	運動室	学習室	プログラムの提供
14:00~15:00	個別療育	学習・余暇支援	区分1 30分~90分
15:00~16:00	個別療育	学習・余暇支援	区分2 90分超~3時間
16:00~17:00	zest(少人数制)	realize(学習・余暇支援)	区分2+延長1 3時間30分~4時間未満*
17:00~18:00	ブカツツ		区分2+延長2 4時間~5時間未満
18:00~19:00	realize(少人数制)	zest(学習・余暇支援)	区分2+延長3 5時間以上

*は、ご家庭の都合による短縮の場合のみ

学校休業日	運動室	学習室	プログラムの提供
10:00~11:00	zest(少人数制)	realize(学習・余暇支援)	区分1 30分~90分
11:00~12:00	realize(少人数制)	zest(学習・余暇支援)	区分2 90分超~3時間
12:00~13:00	個別療育	学習・余暇支援	区分3 3時間超超~5時間
13:00~14:00	ランチタイム		区分3+延長1 5時間30分~6時間未満*
14:00~15:00	個別療育	学習・余暇支援	区分3+延長2 6時間~7時間未満
15:00~16:00	個別療育	学習・余暇支援	区分3+延長3 7時間以上
16:00~17:00	個別療育	学習・余暇支援	*は、ご家庭の都合による短縮の場合のみ

放課後等デイサービス

ココカラ西五所

◎プログラム『zest』～「生きる力」を育む 感覚統合－調節運動プログラム

楽しみながら身体を動かし ココロとカラダを育む
 発達に必要な感覚刺激を受け 情報を処理し 適応行動に結びつける

- ・zest：「強い熱意，強い興味，活力」
- ・zest for living：「生きる力」 日常で ちょっとした喜びや楽しみを見いだし感じる
 自分の役割や課題解決過程で 小さな喜びや楽しみを見つけ感じる

<p>個別療育（成長・発達、社会化の基盤となる能力や機能向上、獲得など） 大人(スタッフ)との関係性を軸に、アタッチメント(愛着形成)、検温や手洗いなどの健康・生活支援、コミュニケーション手段の獲得、感覚運動遊び、定常運動(粗大運動、バランス・リズム、姿勢、巧緻運動)などに取組む。</p>
<p>少人数制（獲得した能力や機能、知的能力の発揮、選択、修正、向上及び社会性獲得など） 獲得した能力の向上と活用。健康状態や変化、身だしなみや水分補給等への意識向上、コミュニケーション手段の向上や相互的コミュニケーションと手段の向上、共同注意、認知から行動(認知過程の発達と概念形成)、感覚統合－調節運動(感覚処理、身体機能向上、論理的思考と行動等)などに取組む。</p>

◎プログラム『realize』～「未来、夢」につながる 主体的活動プログラム

自分を発揮!! 自分を好きになり 自分の夢をもつ。
 人間社会生活における喜びや課題を一緒に感じ、必要なスキルや生きぬく力に結びつける。

- ・realize：「気づく，実現する，実行する，了解する，理解する」
- ・realize one's dream：「夢を実現する，夢をかなえる」

<p>主体的活動支援（意思決定、自己実現、社会性の向上など） 人間社会のなかで、また自分の人生において、夢をもち実現する未来への架け橋としての経験となるよう個々に必要なプログラムを提供。</p>
<p>学習・余暇支援（一人ひとりの課題、環境やライフステージにあわせた活動など） 社会性・社会スキル、知的能力・精神的活動、ココロの教室、学習支援、教科学習支援、意思決定支援、自己実現支援などに取組む。</p>
<p>少人数制（身体機能・刺激入力-情報処理-行動能力向上、企画・思考表出、社会的役割など） 感覚統合－調節運動プログラムを通して「社会的・精神的に生きる力」の向上と獲得。獲得した能力や機能を発揮し、主体的に運動プログラムに参加。また、集団のなかで、自分らしく生きる、考えをカタチにする経験を重ねるなどの取組を支援する。</p>

◎共通プログラム『ブカツ』～みんなで作る放課後活動

- ・放課後や休日を、楽しく豊かに過ごす時間を提供。
- ・環境の整ったなかでの活動から、自分たちの部活を一からつくる活動まで幅広い可能性を提供
- ・活動を通して、創造性、対人関係、役割、共同経験や集団・社会ルールやスキル獲得などを楽しみながら経験する。
- ・条件や状況にあった活動を考え、工夫し実現していく過程で、目的や夢への道を学び、また、自分の知らなかった活動を通して、好きなことが増えたりと、余暇の充実や豊かな人生につながる経験をする。

開催週	プログラム	内容
1週目	子ども会議	ブカツを含むココカラ活動について会議。ブカツ活動報告等。
2週目	ブカツ活動	子ども会議を反映した、ブカツ活動。
3週目		
4週目	b-スポーツ部	ボードゲーム等を用いたブカツ活動。

○子ども会議について

- ・子どもたちの意思表示、意思決定の機会となり、自己実現や共同注意などの学びの場。
- ・集団、社会生活を、活動を通して模擬体験。役割や因果関係などを経験
- ・子どもたちのもっている強い力を表出する経験の場。

○b-スポーツについて

- ・bは『brain(知能)』『board game(ボードゲーム)』。スポーツは競技、娯楽の意味を含む造語。
- ・直感的な内容のものから、「論理的思考力」「コミュニケーション能力」「創造力」の学びにつながるボードゲームなどを提供。
- ・活動内での協力は、自身・やる気・外交性・社会性・協調性などを育む。
- ・ルールを守る経験は、忍耐力・自制心・勤勉性などを育む。
- ・ゲームの過程や結果は、客観視・受容力・自己評価・向上心・自他承認などにつながる。
- ・順序立てて考える論理的思考、戦略的思考による複眼力、創造力、好奇心などが養われる。